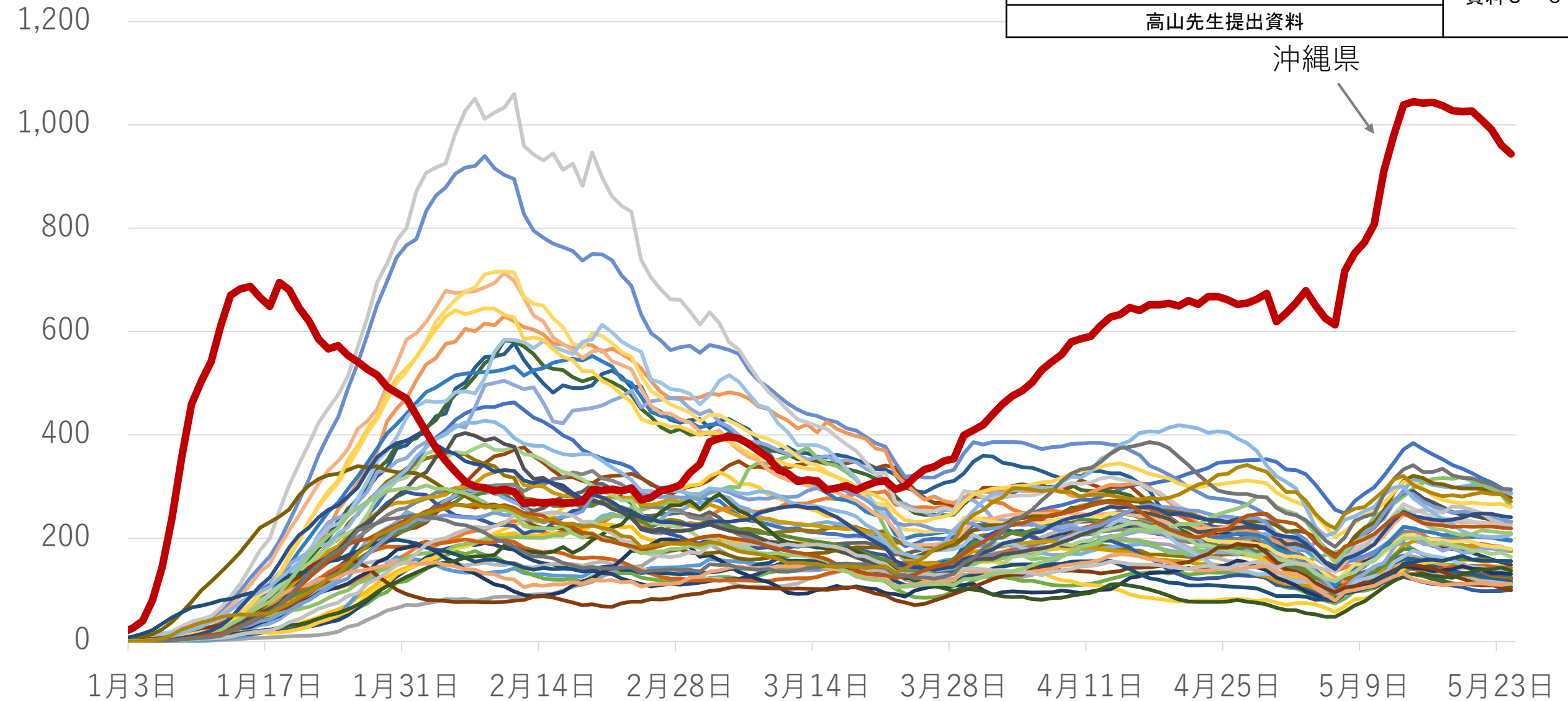


# 図1 都道府県別にみる新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

人口10万人あたり7日間合計

第85回 (令和4年5月25日)	資料3-6
新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード	
高山先生提出資料	

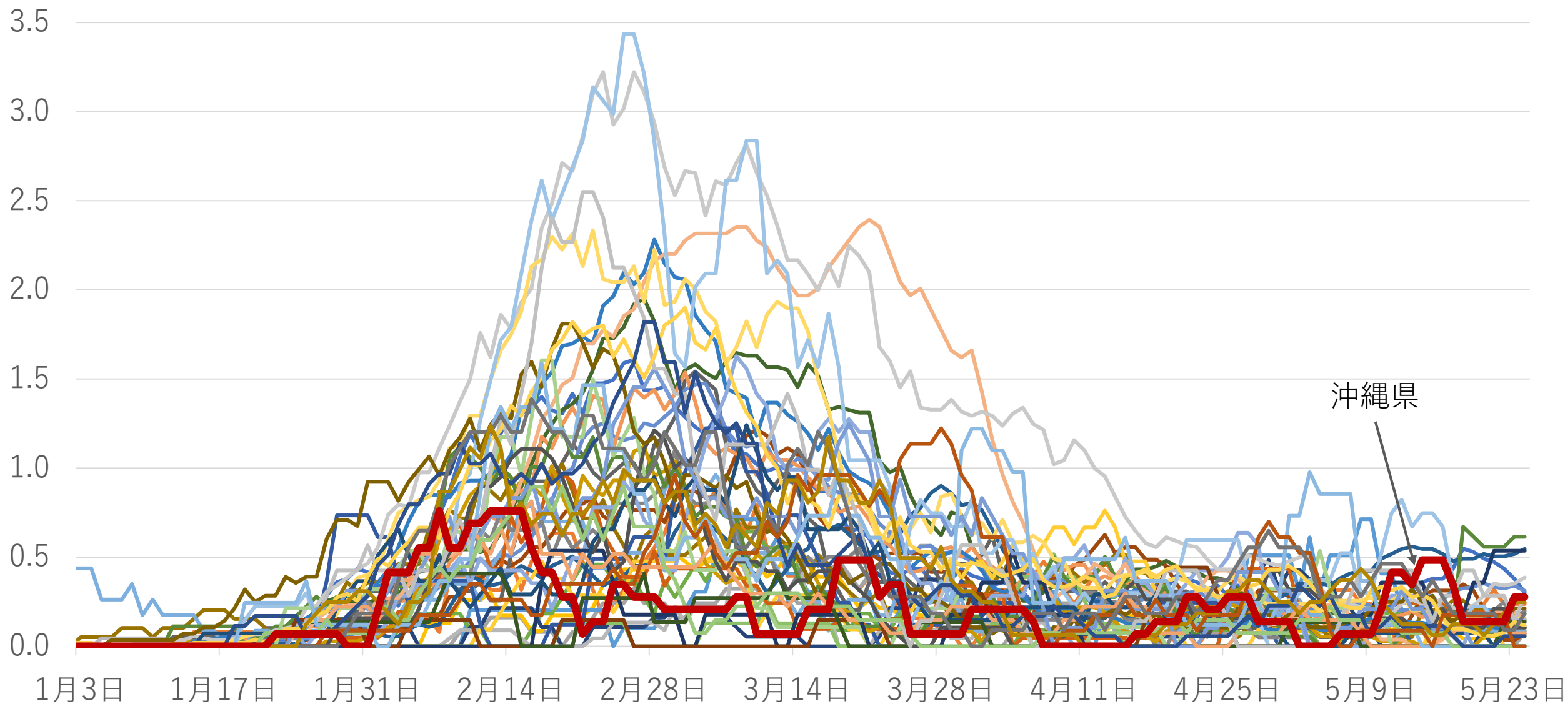
沖縄県



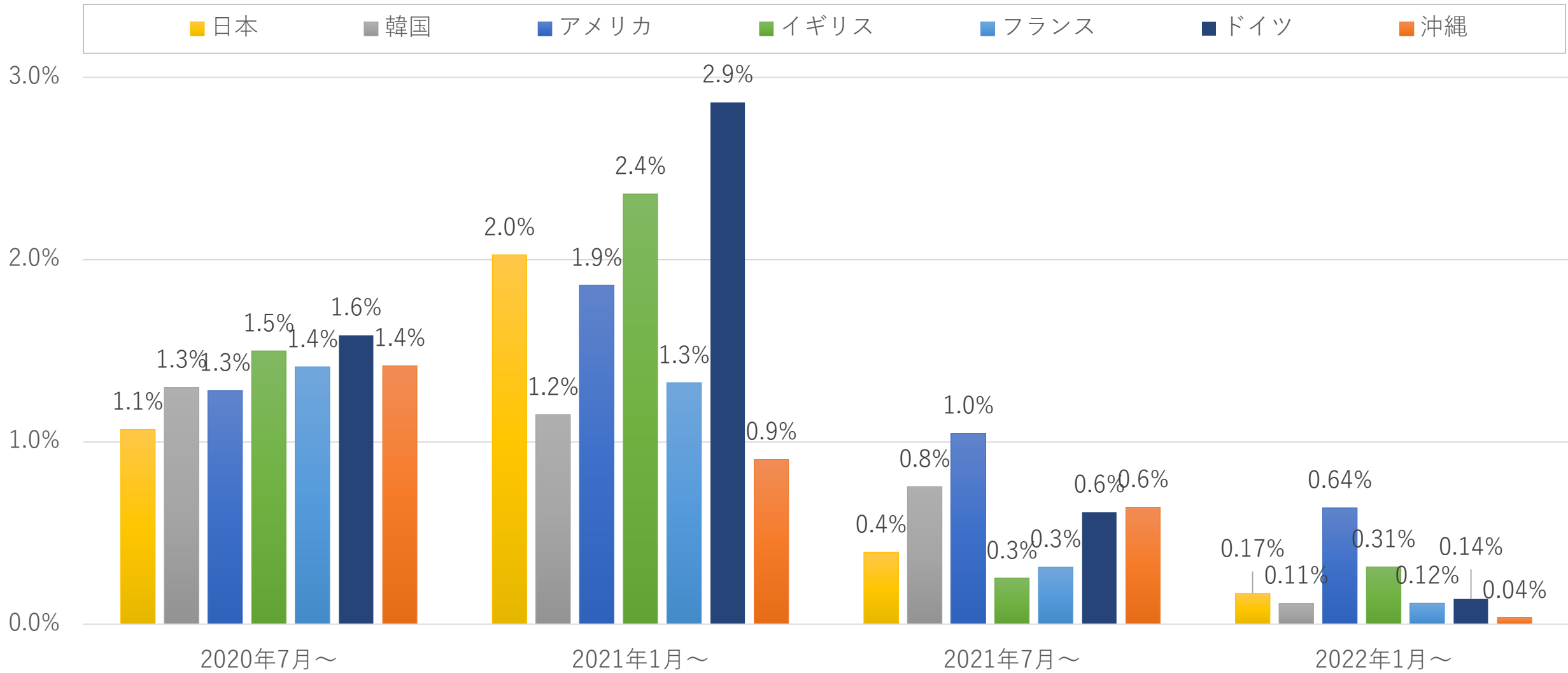
出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」掲載の都道府県ごとの陽性者数をもとに作図<sup>1</sup>

# 図2 都道府県別にみる死亡者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

人口10万人あたり7日間合計

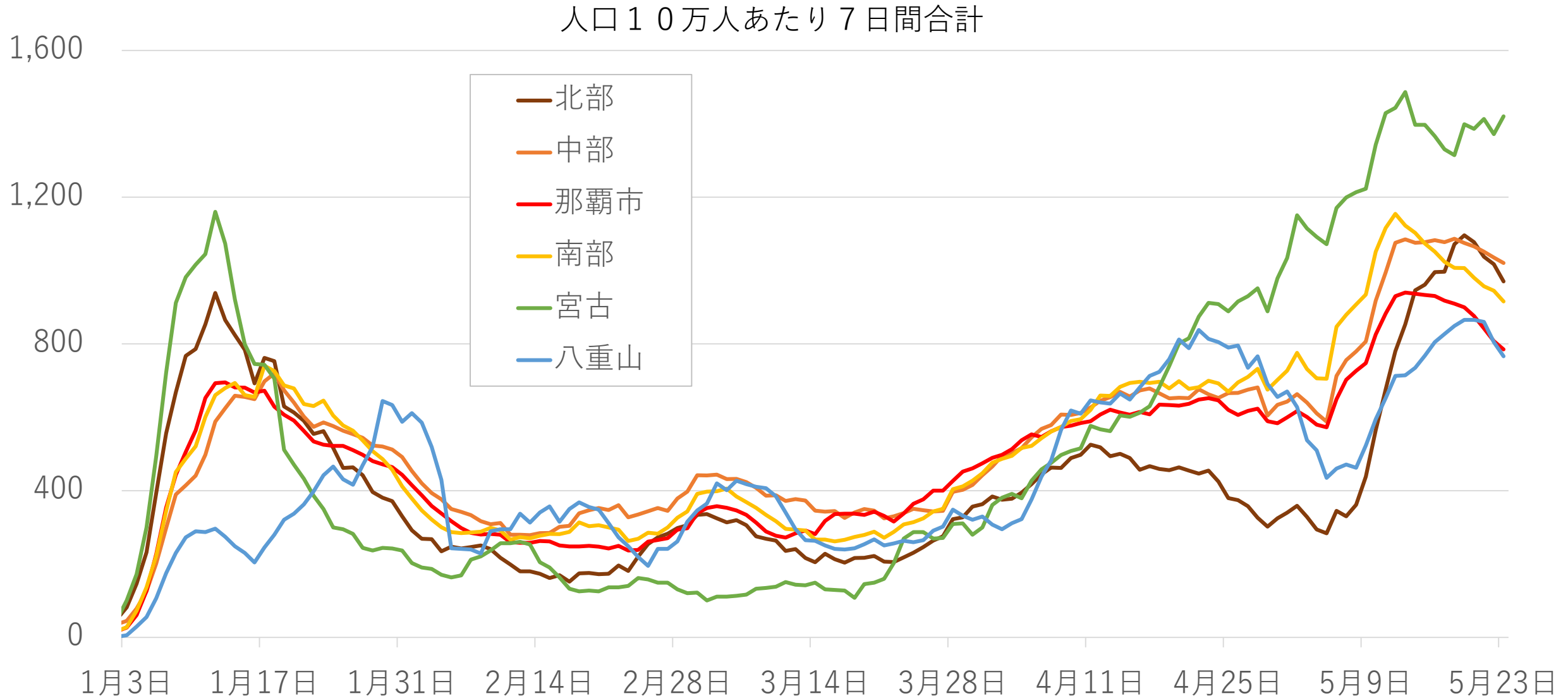


# 図3 先進主要国と沖縄県における致死率の推移

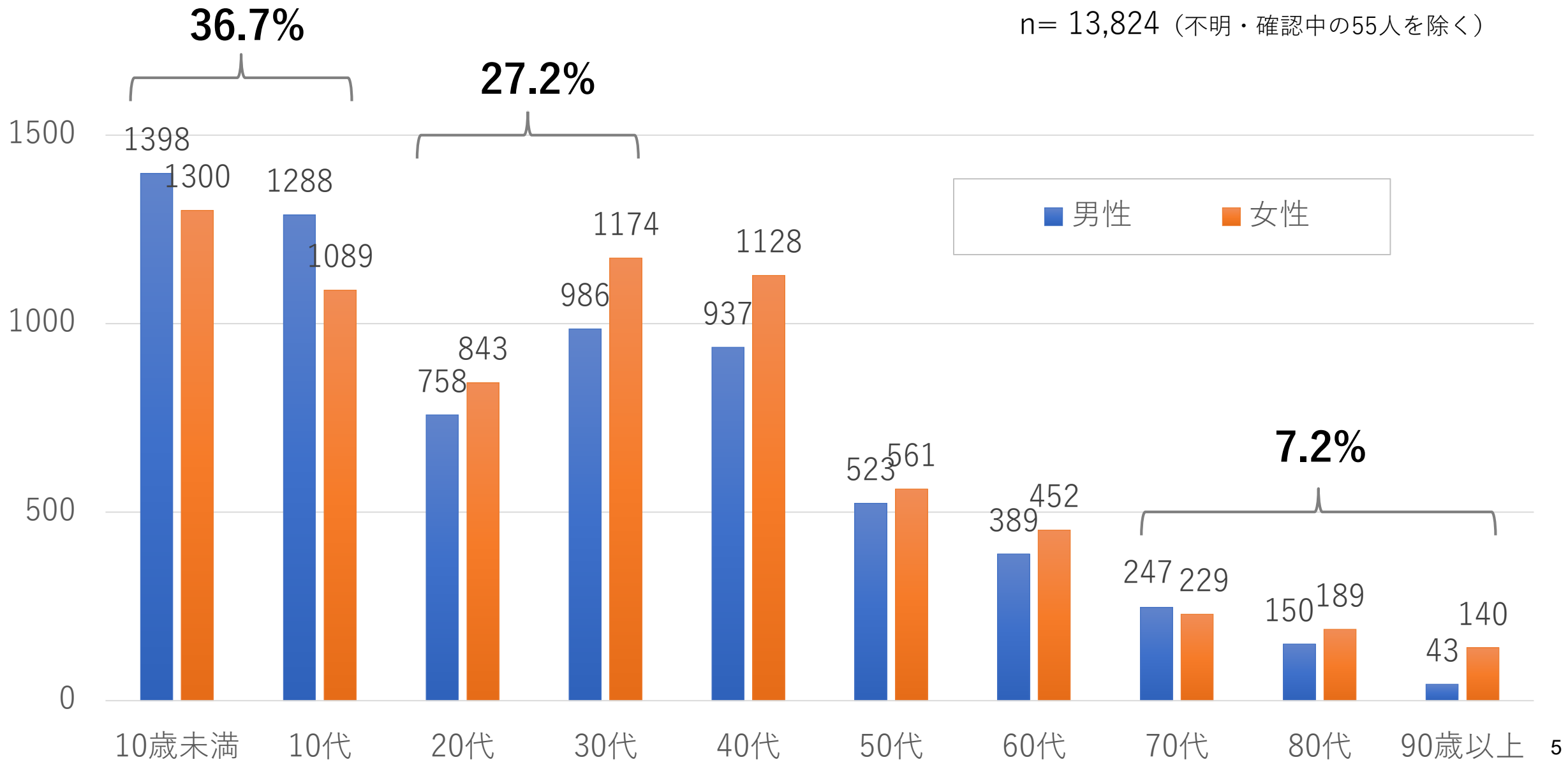


ここでの致死率とは、報告された陽性者に占める死亡者の割合であって、報告されていない感染者数は時期や地域によって差があることに留意する必要がある。

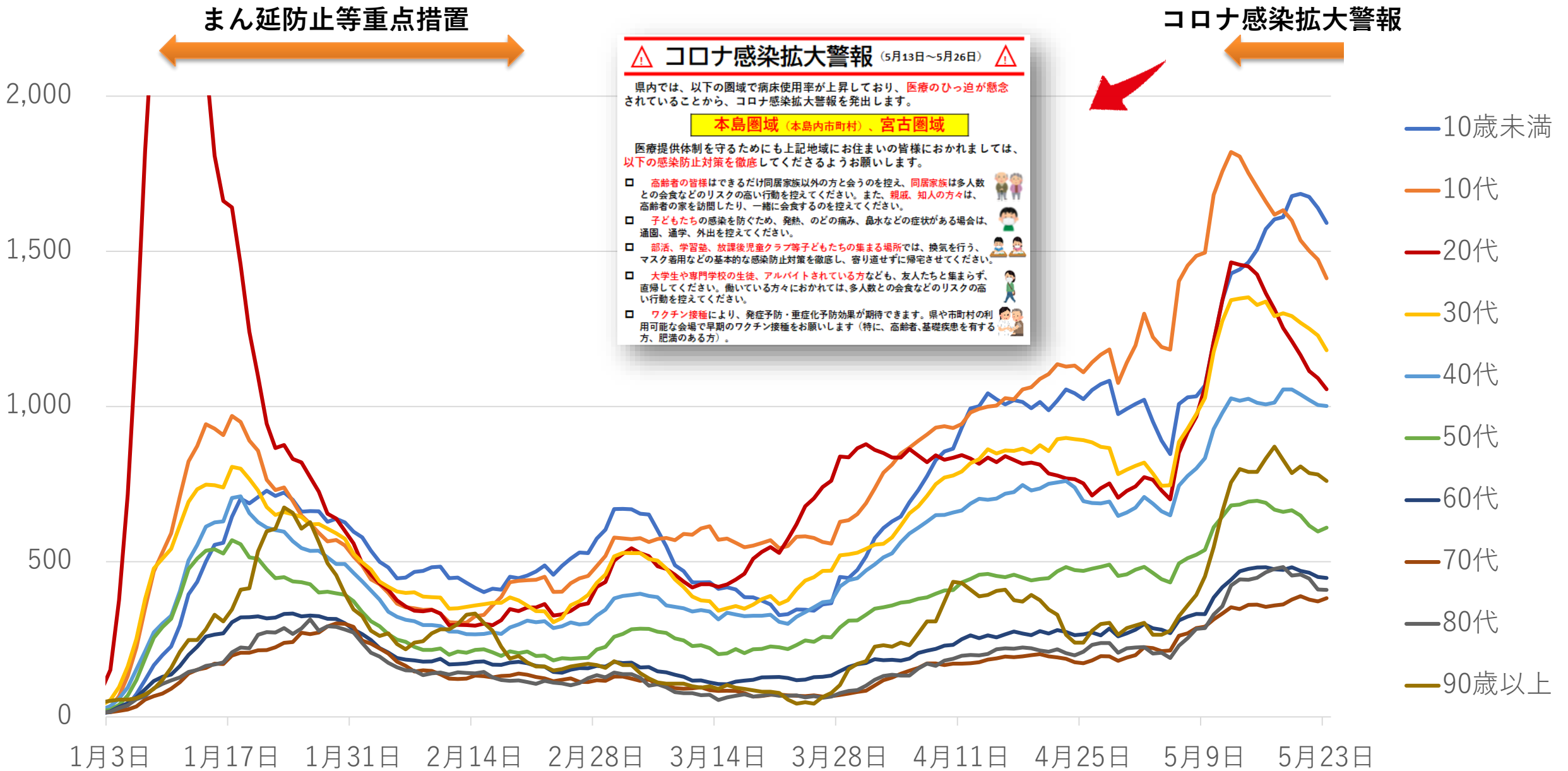
# 図4 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）



# 図5 性年齢階級別に見る陽性者数 (5月16日~22日)

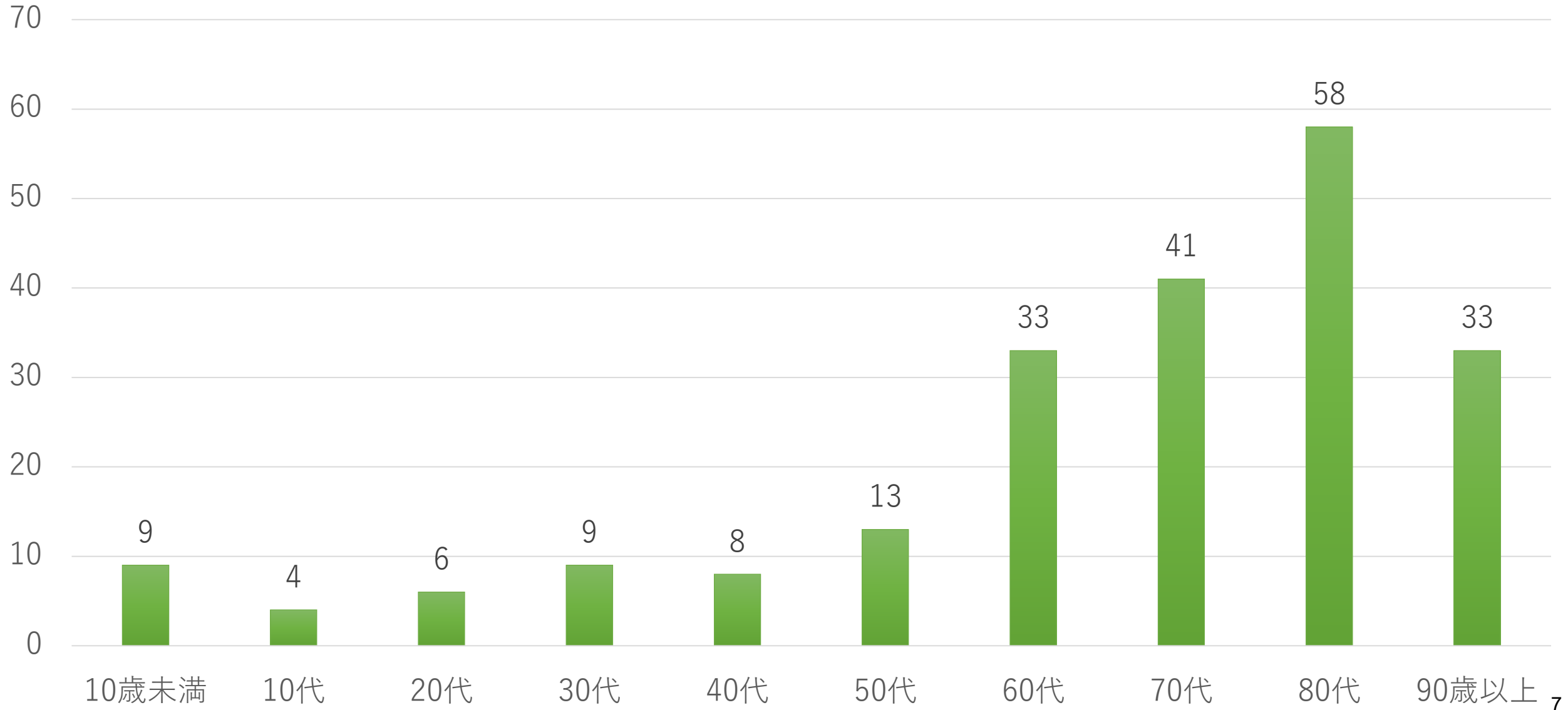


# 図6 年齢階級別に見る新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

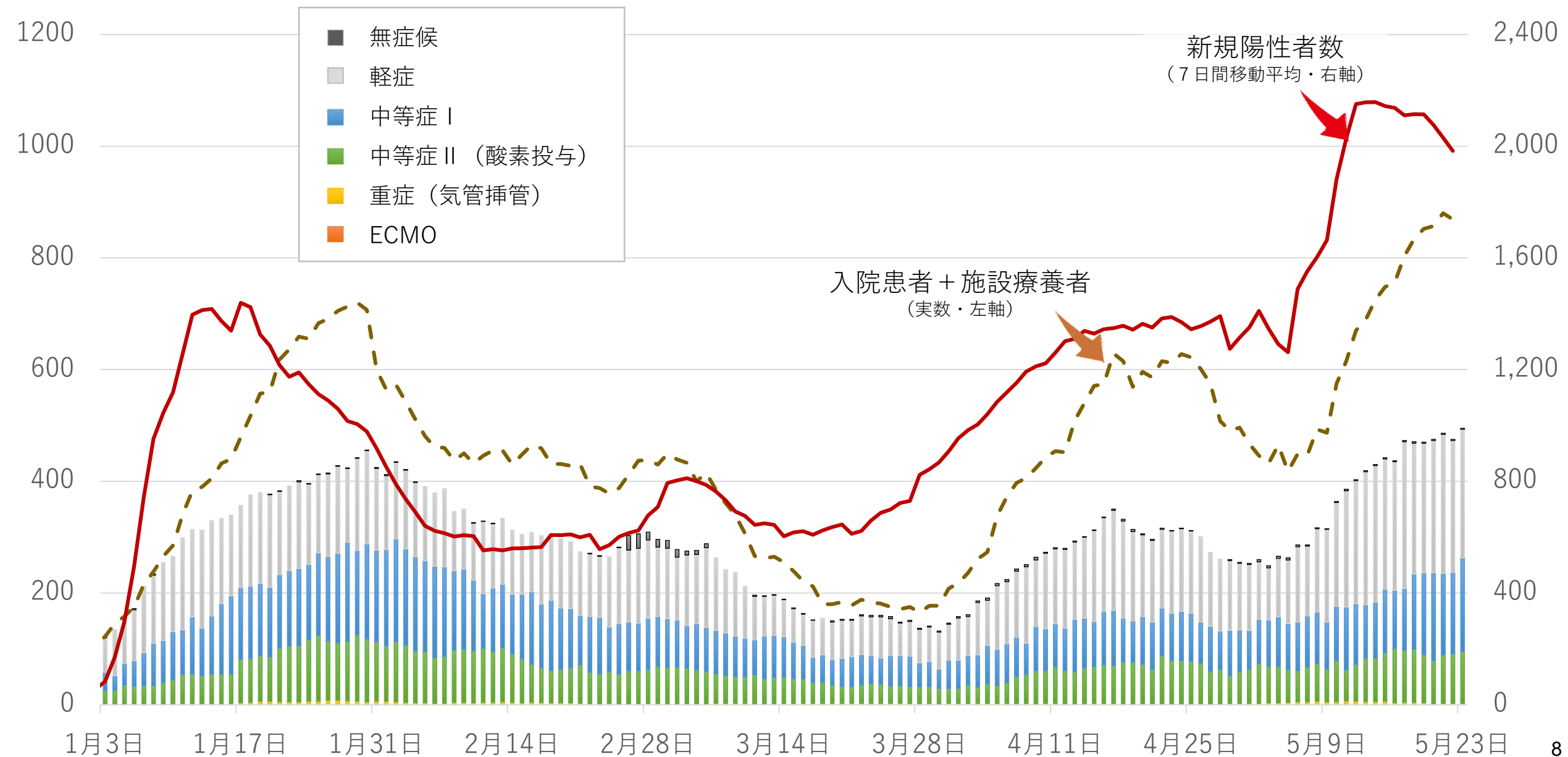


# 図7 新規入院患者の年齢分布 (5月16日~22日)

n= 214 (不明・確認中の1人を除く)

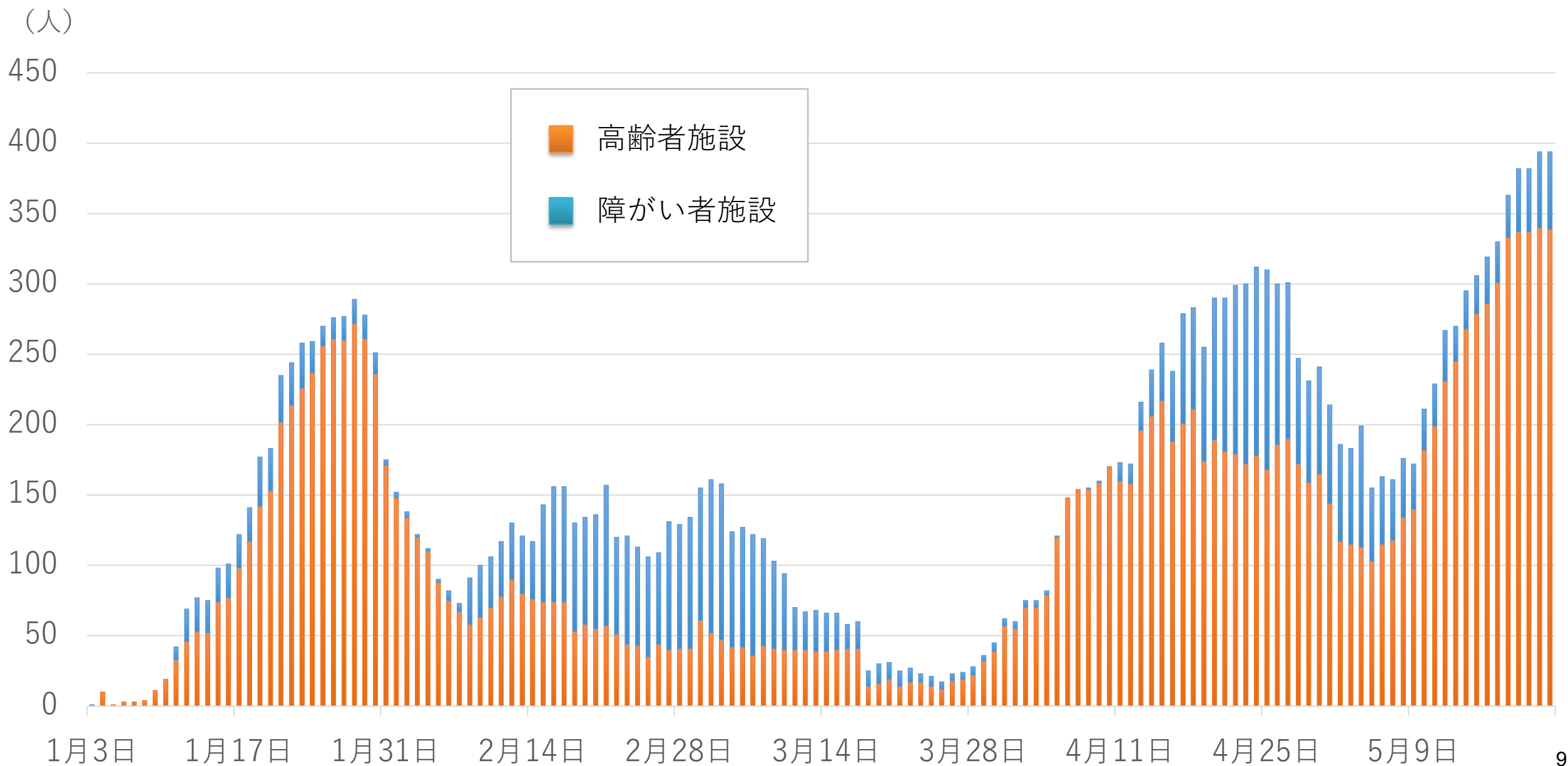


# 図8 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移

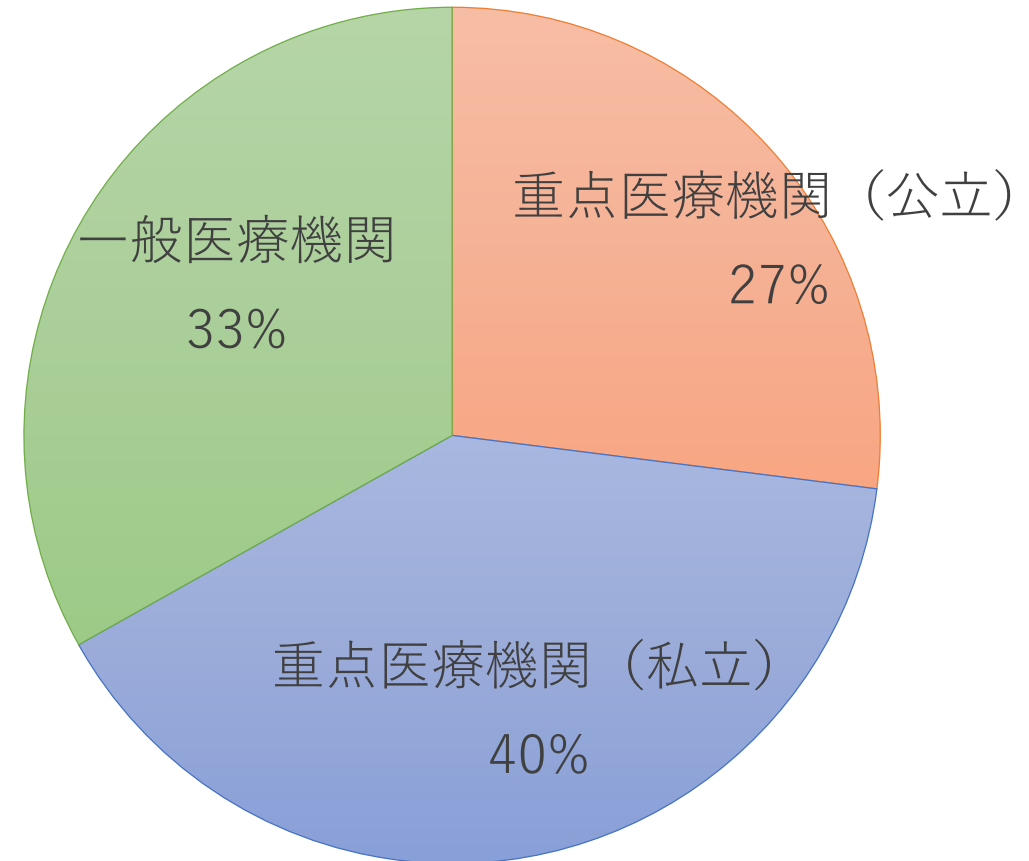




# 図9 社会福祉施設における施設内療養者数



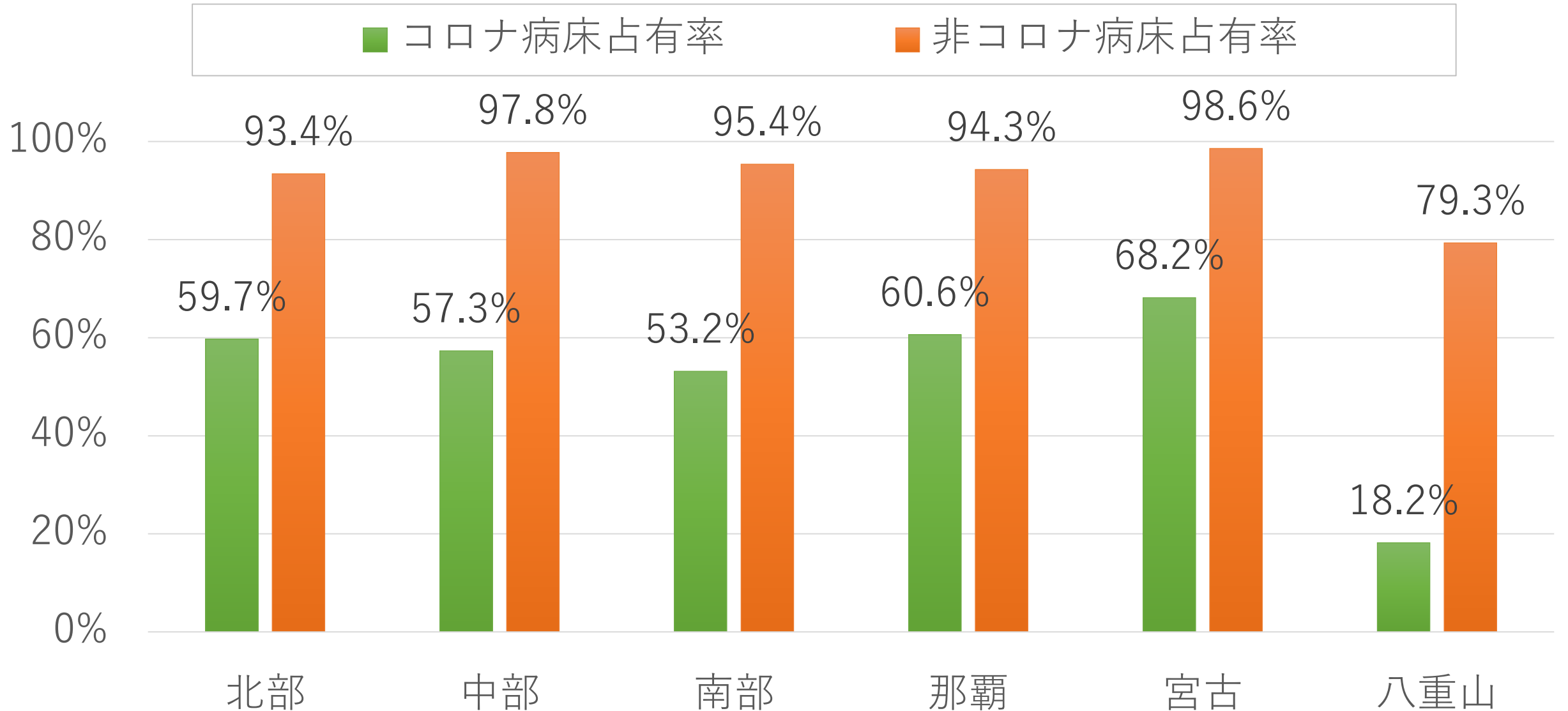
# 図10 新型コロナウイルス感染者の入院医療機関 (5月25日現在)



n=489

オミクロン株への置き換わりとワクチン接種の推進によって、コロナ診療は集中治療との密接な連携が求められ急性期医療から、摂食支援・機能維持・認知症ケア・退院調整といった高齢者に対する総合診療／ケアへと移行している。

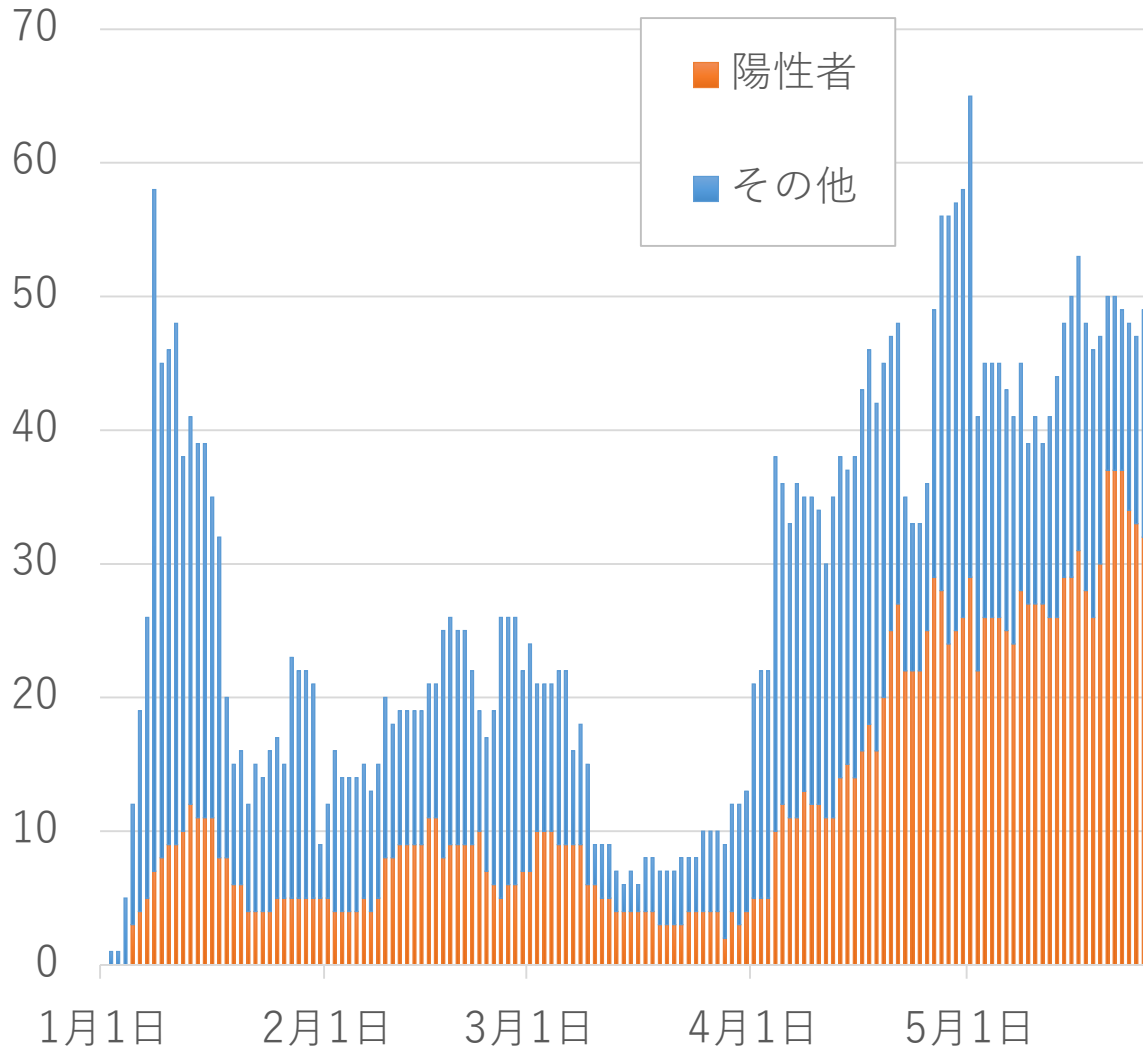
# 図11 重点医療機関における病床占有率（5月25日現在）



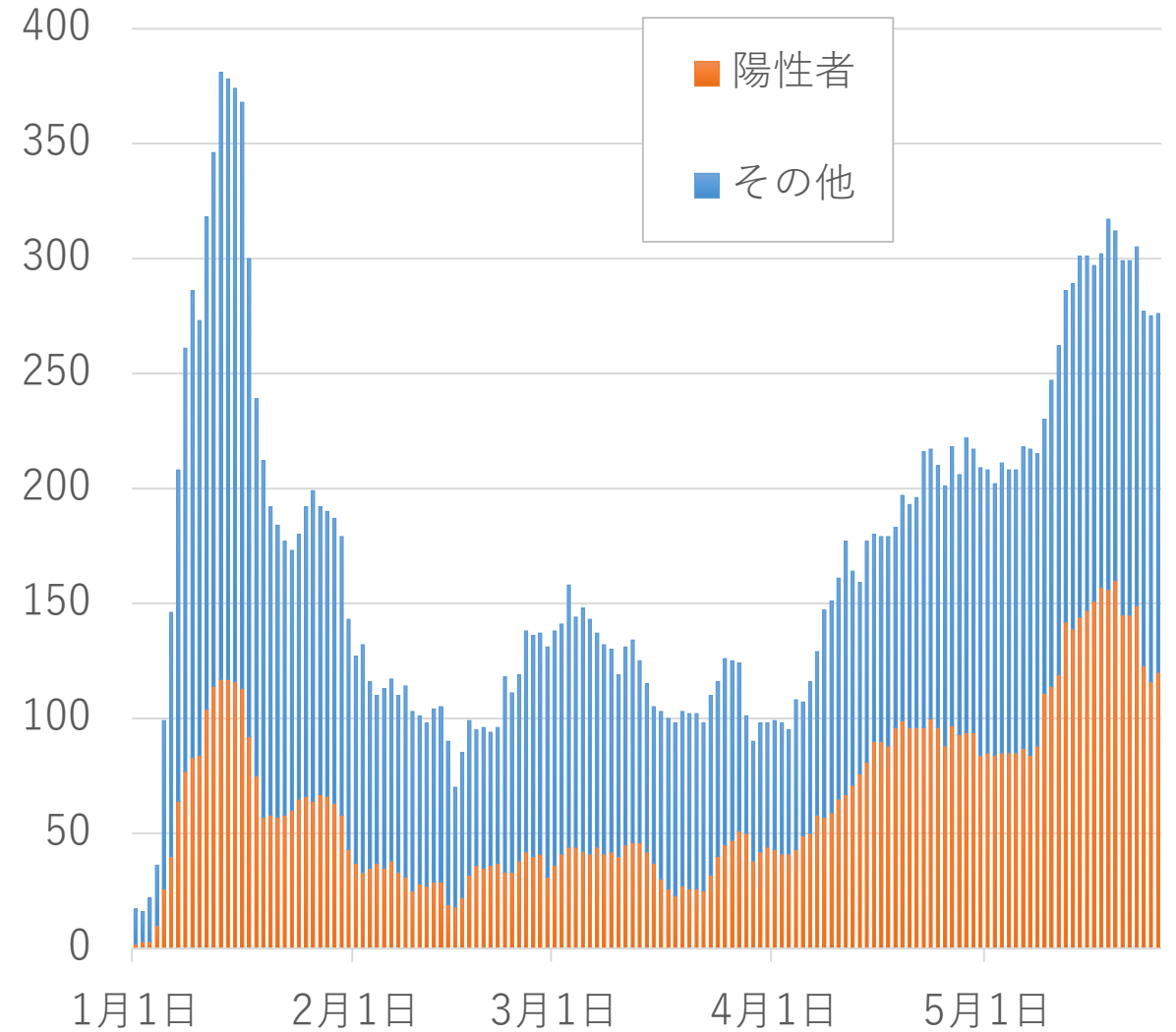
※ 救急受け入れをしている県内重点医療機関 16病院について集計

# 図12 重点医療機関における医師、看護師の休職数

## 医師



## 看護師



# 図13 沖縄県における前週比（7日間移動平均）の推移



- 過去の経験からも、今夏には大きな流行が生じることが推定される。イベントや渡航について社会的制限を求めない方針とするならば、若者層を中心とした急速な感染拡大が生じることを想定しておく必要がある。
- オミクロン株以降、感染力は増しているが、病原性は明らかに低下している。こうした変化を踏まえ、検査や受診を推奨する対象、外出自粛の対象や期間について考え方を整理する必要がある。
- コロナは過ぎ去っておらず、医療と介護の現場では「災害」が続いている。今後も流行が繰り返されるなかで、ウィズコロナを選択した場合のリスクと心構え、求められる行動についての説明が求められている。